

今回の紹介地区 No.022 山口県 山陽小野田市 埴生地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要：農地面積 51.2ha、うち耕作放棄地 17.9ha
 放棄の理由：農産物価格の低迷と農業者の高齢化に伴う労働力不足。
 荒廃の程度：雑草の繁茂や樹木の侵入に加え、不法投棄物が散乱しており人力、農業用機械、重機による作業が必要

取組概要

対象面積：4.13ha(畑) (再生作業単価 10.7万円/10a)
 実施期間：平成21年8月3日～9月4日
 取組のきっかけ：市、農業委員会等の関係機関で、新たな担い手確保について検討していたところ、市内の認定農業者が畑作による経営規模拡大の意向を持っていることがわかり、農業委員会が中心となり地主と協議、利用権設定による利用集積で、本対策に取組むこととなった。
 調整経緯：認定農業者が農業委員会を通し地主と交渉し、市と協定を交わして実施に至る
 取組主体：認定農業者(予定作物：ブロッコリー、キャベツ、白菜)
 作業内容：雑草や樹木の刈払・処分、整地、土壌改良、営農定着

今後の予定

平成21年8月上旬から9月上旬に再生作業、土壌改良(肥料投入)を実施し、その後ブロッコリー、キャベツ、白菜などを作付け中



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後